

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	情操教育推進事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	10	01	04	03	57
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	濱崎 祐子				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小中学校児童生徒	意図	児童生徒の情操を養い、豊かな心情を培う。
事業内容	学校が意図的・計画的に企画する映画鑑賞、コンサート、観劇等を通し、児童生徒の情操を養い、豊かな心情を培えるよう支援する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成22年度の新規事業である。市内小中学校からの要望が多く、さまざまな活用方法を展開しようと試みている。また、参加した児童生徒は本物の芸術に触れることで、心豊かな時間を過ごすことができている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 観劇参加数	1,261	2,391	4,362	人	→→	
	② 音楽鑑賞参加数	2,365	3,072	3,528	人	→→	
	③ その他参加数	430	597	0	人	→→	
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	児童・生徒だけではなく、保護者や地域の方にも公開することで感動を共有する事ができたことは大きな成果である。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成24年度は観劇が2校、音楽鑑賞が4校、講演会が1校であった。また、平成25年度は希望が市内の小中学校のほぼ半数からあり、観劇が5校、音楽鑑賞が5校、講演会が1校と多様であった。事業が5年目になった26年度は、観劇7校、音楽鑑賞会6校であったが、希望する学校が多く残り3校には配分ができなかったため、予算の拡大が急務である。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,500,000	1,500,000	1,800,000				
事業費(b)(円)	1,500,000	1,500,000	1,800,000				
うち一般財源	1,500,000	1,500,000	1,800,000				
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	学校が意図的・計画的に企画する情操教育推進事業の支援をより充実させる。	③取り組みの課題	情操教育推進事業も定着し、要望する学校が年々増加してきており、そのため、要望に十分に答えることが困難になってきている。
②今年度(H26)に実施した取り組み	今年度は13校で情操教育推進事業を実施したが、充実した取り組みを行うことができた。	④今後の改善計画	優先順位を決めて、市内の小・中学校に平等に支援できるように工夫していくが、事業の拡大も急務である。